

Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創 立：1980年(昭和55年)1月10日
会 長：松波 恒彦
幹 事：平野 好道
クラブ委員長：犬飼 達郎
例 会 日：毎週木曜日 PM12:30~
会 場：ヒルトン名古屋

事 務 局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
T E L：052-211-3803
F A X：052-211-2623
M A I L：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

奉仕を通じて
平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

第1601回例会

～ロータリー親睦活動月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2013年6月6日(木) 雨 第45回

司 会：堀慎治会場委員長
斉 唱：「君が代」「奉仕の理想」
ゲ ス ト：地区ポリオプラス委員長 増田 盛英さん
地区ローターアクト代表 鏡味 純弥さん
名古屋名城RAC会長 中田真理子さん

会長挨拶

松波恒彦会長



本日のゲストであり、卓話をして頂きますのは会員の増田さんです。宜しくお願い致します。同じく卓話のお二人をご紹介します。地区ローターアクト代表の鏡味純弥さん、名古屋名城RAC会長の中田真理子さんです。本日は新入会員の入会式もございます。

今週の月曜日に地区内交流クラブである豊橋ゴールドンRCと合同ゴルフコンペを行いました。優勝者は豊橋ゴールドンRCのメンバー、2位は梅田会長でした。秋には豊橋にある浜名湖カントリークラブでゴルフを企画していますので、次年度の泉会長にバトンタッチをして進めて頂くこととなります。来年度の春には三好で開催して頂きたいというご要望もございます。このゴルフコンペには、会員の皆さんから沢山のご応募がありました。メンバーに限りがあり、ご辞退を頂いた方もいます。大変有難うございます。そして、本日から、札幌手稲RCに十数人で伺いたいと思います。土曜日の12時半から開催される例会には、全員で出席して頂く予定でいます。有難うございます。

ところで、ポリオというのは、皆さんよくご存じでいらっしゃると思いますが、2011年、インドの発症者が1名と私は記憶しています。去年も今年もいませんでした。しかし、世界では2012年、ポリオの発症者はナイジェリアに17名、パキスタンに15名、アフガニスタンに6名、計38名の発症者があったと聞いています。ワクチンについて1つ情報がございませぬ。アメリカCIAがウサーマ・ビン・ラーディンを捕まえる為にポリオを利用したそうです。ポリオウイルスの予防接種という名目で、潜伏先と思われる邸宅に入ることに成功し、ウサーマ・ビン・ラーディン容疑者とその一族のDNAサンプルを採取した為、アルカイダが怒りアフガニスタンのポリオを啓蒙していた方々を沢山殺害したそうです。これは100%正しい情報かどうかはわかりませんが、このような話も聞こえてきています。

会長挨拶とします。有難うございました。

豊橋ゴールドンRCとの交流ゴルフコンペ



6月3日(月)名古屋ゴルフ倶楽部にて、地区内交流クラブである豊橋ゴールドンRCと交流ゴルフコンペを開催しました。

ニコボックス

梅村昌孝ニコボックス委員長

- ・ 今期も何かとありがとうございました。 越原 一郎さん
- ・ 今月は誕生日です。今期は出席とニコボックス委員でしたが、お手伝いが出来ず反省しています。 遠山 堯郎さん
- ・ 早いもので、又誕生日のある6月になりました。宜しくお願ひします。 長坂 邦雄さん
- ・ 6月27日は私共の結婚記念日です。 岩田 吉廣さん
- ・ 佐治さん、田中さん、名古屋瑞穂RCによろこそ。 湯澤 信雄さん
- ・ 佐治さん、田中さん、歓迎します。 宗宮 信賢さん
- ・ 本日より佐治寛行さんさんが入会します。宜しくお願ひします。 鈴木 淑久さん
- ・ 本日、アクター2名と卓話でインドNIDのお話をさせて頂きます。 増田 盛英さん
- ・ 増田さん、本日の卓話宜しくお願いします。又、例会終了後、札幌手稲RCへ訪問して来ます。 松波 恒彦さん
- ・ 昨日、孫が生まれました。女の子で3人目です。 田中 隆義さん

委員会・同好会報告

R情報・研修委員会：長瀬憲八郎委員長

先日、若手研修メンバーと中堅メンバーで研修会を行いました。その際、出して頂いた質問については研修会で答えましたが、時間の都合上、全て答えることができませんでしたので、本日メールボックスにその答えを入れておきました。ご確認お願いします。メンバーの方でどんな質問が出たかを知りたいという方がいらっしやいましたら、事務局で資料としてお渡ししますので、お問い合わせ下さい。

6月お誕生日おめでとう

平野哲始郎さん 嶺木 一夫さん 鈴木 健司さん
遠山 堯郎さん 松波 恒彦さん 湯澤 勇生さん
長坂 邦雄さん

出席報告

梅村昌孝出席委員長

会員65名 出席41名 (出席計算人数50名)

出席率 73.2%

5月30日は補填により 92.7%

幹事報告

平野好道幹事

- ・ 6月7日(金)12:00より小樽カントリー倶楽部にてゴルフを行います。
 - ・ 6月8日(土)札幌手稲RCの例会を訪問します。
 - ・ 6月13日(木)13:40よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第12回理事会を行います。
 - ・ 6月13日(木)18:00よりKATANAにて新旧青少年奉仕・ローターアクト委員会、懇親会を行います。
- 規定審議会で様々な規定が変更されました。その詳しい内容はインターネットでロータリージャパンのホームページから各項目とその内容について見る事ができます。ここでは関係する事を少しご紹介します。
1. クラブ会長は少なくともRCに1年以上在籍することが必要となりました。

- 一旦、退会された会員が再度入会される時には入会金を免除するということになりました。
 - 病気による欠席を理事会で認めた場合は出席率の計算に含まれないということになりました。
 - 出席免除ですが、現在はロータリーの在籍年数+年齢 65 歳以上という条件がございましたが、65 歳という年齢条件が外れましたので、在籍年数のみで申請して頂くことができるようになりました。(但し、認めるかどうかは理事会の判断になります。)
- これら以外にもございますが、ご興味のある方はホームページをご覧ください。

札幌手稲RC訪問



6月8日(土)に国内友好クラブである札幌手稲RCを松波会長始め14名が訪問しました。前日に小樽カントリー倶楽部にて親睦ゴルフコンペも行いました。

新入会員入会式

本日、佐治寛行さん(親睦活動委員会に所属)と田中宏さん(会場委員会に所属)が入会されました。

バッジ・ネームプレート授与:松波恒彦会長

バッジとネームプレートを伝達させていただきます。皆さんにお渡しするバッジはロータリアンとしての誇り、そして社会に奉仕をするという気持ちが込められたバッジでございます。ネームプレートは、あなたの氏名を会員、ゲスト、ビジターに覚えて頂く為に必要ですから、必ず身に付けて下さい。



卓話

増田盛英さん、鏡味純弥さん、中田真理子さん

インドNIDに参加して



地区R財団ポリオプラス委員会委員長の増田盛英でございます。本日は先ほどご紹介頂きましたアクターの増田真理子君・鏡味純弥君と3名でお話をさせていただきます。

江崎柳節パストガバナーを団長として20名で2月24日(日)のインドNID(ポリオワクチン全国一斉投与の日)に参加すべく2月22日にセントレアから出発しました。20名の内3名はローターアクターが参加しました。今回は、夫々が5~10名の5歳以下の子供たちにワクチン投与する事ができ、大変意義深いものとなりました。前日の23日には、2830地区の関場パストガバナーと合同でポリオレポート会議及び印日親睦会に全員で出席して意見の交換を行い、国際ロータリーの悲願であるポリオ撲滅を誓い合いました。お陰様でインドでは、ここ1年以上発症例はありません。現在の発症国は、パキスタン・アフガニスタン・ナイジェリアの3カ国となり、ポリオ撲滅(END PORIO NOW)まであと少しのところに参加しました。今年1月から5月20日までの発症例は、アフガニスタンが2例・パキスタンが8例・ナイジェリアが22例ポリオ常在国以外で1例、合計33例の発症に留まっています。2012年は世界合計で223例発症しております。しかしながら、撲滅まで未だ10億ドル位のお金が必要です。これはワクチンを購入するお金等です。皆様のご協力を切に願います。

今からアクター2名によりNIDの報告をさせていただきますが、私の念願であった、3名のアクターの参加が実現しました。アクター3名が参加する際に地区新世代奉仕委員会、そして提唱クラブから旅行費等の3分の2をご支援頂きました。厚く御礼申し上げます。

それでは、中田・鏡味両君よりインドNID参加のご報告をさせていただきます。NIDとは、全国一斉予防接種キャンペーンの略でインド政府が設定した日に無料で5歳以下の子供がポリオワクチンを接種することができる日です。

<ポリオについて>

ポリオとは脊髄性小児麻痺や急性灰白髄炎と呼ばれていた、大人よりも乳幼児が罹りやすい病気です。ポリオウイルスはまず口から体内に感染し、腸の中でウイルスが増えます。ただ、ポリオウイルスに感染しても殆どの方は病気の症状が現れずに、知らない間に免疫を獲得します。ところが、一部の方は腸のウイルスが脊髄に入ってしまう手や足の麻痺が現れます。これは麻痺性ポリオと呼ばれ手足の麻痺が生涯にわたって続くという大変な病気です。

<ポリオの歴史>

歴史上、ポリオと考えられる最初の記録は、紀元前1580~1350年頃、エジプト第18王朝に遡ります。この時代の石碑に右脚が委縮し、つま先のみをつけた尖足位の若い僧の像が刻まれていて、これがポリオによる麻痺例と推定されています。この事は、ポリオウイルスが人類の永い歴史とともに存在している事を意味しています。

日本では明治後期から10数年の間隔で流行が見られるようになりました。大流行が始まったのは戦後からで、最も流行が大きかった昭和24~36年頃、年間のポリオ患者数は1,000~5,000人、死亡者は100~1,000人に達しました。特に1960年に北海道から始まった大流行では、新聞に大きく「病魔に無力な人間」「即効性のある対策無し」「ワクチンを待つ母」などの見出しが踊り、ワクチンを求めてパニックが起きたそうです。その後昭和36年に普及しはじめたポリオ生ワクチンにより、患者・死亡者数は激減しました。昭和39年には患者数84人と初めて100人を下回り、昭和45年には患者数8人、そして野性のポリオウイルスによる感染は、昭和55年の1例を最後に日本ではみられなくなりました。

<ロータリーの活動>

ロータリーは、身体の自由を奪うポリオを撲滅する為、世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)のパートナー組織として、25年以上にわたり活動してきました。ポリオ・プラスは、ポリオ撲滅活動を支える、ロータリー史上最大のプログラムです。このポリオ・プラスは現在、人道的目標を目指す公民協力のモデルとして、世界的に認められています。そして、長年、ポリオの流行地域の一つとして認識されてきたインドで、今、ポリオ撲滅の歴史が刻まれようとしています。

<そしてついにインドでは>

今年の2013年1月にインドは、WHO(世界保健機関)のポリオ常任国リストから除外されることになりました。これは、国際社会によるポリオ根絶に向けた取り組みの大きな勝利といえます。インドは、過去数十年にもわたり、野生株ポリオウィルスの保菌国の一つでした。2009年には、ポリオに感染した子どもの数が最も多い国にもなりました。しかしながら、この国の無数の保健スタッフ達は、ポリオ根絶の為に粘り強く熱心に活動を続け、そうした不断の努力が、ポリオ撲滅への新たな希望となり、またその活動への関心を高めました。最も厳しい環境にある農村地帯にも、沢山のボランティアの方々が出向き、電車やバスも通っていない、市場もないような場所に暮らす人々への予防接種を実施しました。この大きな成果を生むために、多くのロータリアンの努力や寄付が費やされてきました。約9億人分の経口ポリオワクチンが、8,500人の保健スタッフなどの手によって投与されました。また、全国一斉予防接種キャンペーン(NID)を通じ、最も感染リスクが高い地域に住む7,000万人にもなる子どもたちをはじめ、総計で1億7000万人を超える5歳未満の子どもたちが、数回にわたって予防接種を受けました。その努力の甲斐がありインドのポリオの撲滅に成功しました。

NIDがインドにとって、どんなに大事な一日なのか、現地に行っ

例会のご案内

■今週の卓話 6月13日(木)

会員卓話：高須洋志さん
テーマ：森の防波堤プロジェクト

■次週の行事 6月20日(木) 第5回クラブフォーラム

内容：委員会報告と次年度行事予定

■次々週行事 6月27日(木) 下期納会

場所：か茂免
時間：18:00~20:00